

(様式4-1)

木造化の取組内容 概要 (A4・最大2枚)

プロジェクト名	
主要構造部 [*] に 木材を一定以上使用 【要件①-i】 ※構造耐力上主要な部分 (基礎・基礎ぐいを除く) を含む	以下のいずれに該当するか、選択してください。 <input type="checkbox"/> ア 木造の建築物(主要構造部の全てを木造とした建築物) <input type="checkbox"/> イ 建築物の部分が木造の建築物(立面混構造や平面混構造などのように、木造部分と木造以外の構造の部分の床面積を明確に切り分けられる構造の建築物) <input type="checkbox"/> ウ 補助対象部分の主要構造部に床面積1㎡あたり0.05㎡以上の木材・木質材料を使用する混構造の建築物 <small>※上記の要件を満たしていることを具体的に説明してください。 ※ウの場合、補助対象面積×0.05=()≦木材・木質材料の使用量()㎡【算定根拠は様式4-3で明示すること】</small>
耐火要件、 規模・階数等 【要件①-ii】	以下の該当するものを、全て選択してください。 <small>※「建築基準法令上、耐火構造又は準耐火構造とすることが求められる」根拠法令等を記入してください。</small> <input type="checkbox"/> ア規模・法第21条第1項： <input type="checkbox"/> 地階を除く階数4以上or <input type="checkbox"/> 高さ16m超 ・法第21条第2項： <input type="checkbox"/> 延べ面積3,000㎡超 <input type="checkbox"/> イ用途・法第27条第1項： <input type="checkbox"/> 階以上の階に()の用途()㎡ <input type="checkbox"/> ウ地域・法第61条： <input type="checkbox"/> 防火地域 階数()・延べ面積()㎡ (第1項・第2項) <input type="checkbox"/> 準防火地域 地階を除く階数()・延べ面積()㎡ <input type="checkbox"/> エその他()
用途 【要件①-iii】	以下のいずれに該当するか、選択してください。 <small>・下線部分に要件を満たしていることを具体的かつ簡潔に説明してください。 ・複数の用途を組み合わせた複合的な建築物の場合、優良木造建築物等整備推進事業の対象となる用途以外の用途についても記載の上、その部分については同事業の対象としない旨を明記してください。</small> <input type="checkbox"/> 建築物の用途は、(建築基準法上の用途)であり要件(ア～オ)に合致する。 <input type="checkbox"/> 建築物の用途について、要件に例示として記載されていないが(法的根拠)であることから要件(ア～オ)に合致する。
木造建築物の普及啓発に係る取組 【要件①-iv】	①竣工後に多数の者の目に触れる 以下の該当するものを、全て選択してください。 <small>※募集要領の1.2①IVアを踏まえ、予定する取組みの内容や当該施設が多数の者の目に触れること等について、下線部分に具体的な内容を箇条書きで記載してください。</small> <input type="checkbox"/> (時期)に内覧会・現場見学会を行う。 <input type="checkbox"/> 下記取組みを行い多数の目に触れることを計画する。 1. 2. . .
	②設計・施工等に関する技術資料の公表 下記内容に <input type="checkbox"/> 同意する ・評価事務局又は国土交通省の求めに応じ、補助事業者の財産上の利益、競争上の地位等を不当に害する恐れのない限り、先導的な木造建築物の普及に資する設計、施工等に関する技術資料(設計図書等)を公表する。 ・床が木造であるので、竣工時に評価事務局が指定する方法により床衝撃音データを取得しその結果を当該床の断面図とともに国土交通省へ提供する。
	③建設工事費情報の公表への協力 下記内容に <input type="checkbox"/> 同意する ・国土交通省が建設工事費、修繕費、維持管理費等に関する情報を整理し建築物の諸元と併せて公表することに協力する。
	④炭素貯蔵量の算定・表示 以下のいずれに該当するか、選択してください。 <small>※募集要領の1.2①IVエを踏まえ、他の評価機関や評価方法により算出の上、炭素貯蔵の効果を見える化する対応を別途講ずる場合は、具体的内容を記載してください。</small> <input type="checkbox"/> 炭素貯蔵量の算定方法は「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」(令和3年10月1日付3林政産第85号)に基づく方法で行い、表示方法は、 <u> </u> で行い(時期) <u> </u> に表示する。 <input type="checkbox"/> その他()
原則として ZEH 又は ZEB の水準への適合 【要件①-v】	以下のいずれに該当するか、選択してください。 <small>※BELS 評価書等を提出してください。 ※申請時に添付ができない場合は、完了実績報告時に提出してください。</small> <input type="checkbox"/> ZEH・ZEB 水準に適合する。 <input type="checkbox"/> CASBEE の S ランク又はこれと同等以上の性能を有するもの。
住宅の場合、土砂災害警戒区域又は土砂災害に係る災害危険区域外 【要件①-vi】	以下のいずれに該当するか、選択してください。 <input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅ではない。 <input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅である場合、建設地が土砂災害特別警戒区域又は土砂災害に係る災害危険区域ではない。
住宅の場合、都市再生特別措置法88条5項の公表について 【要件①-vii】	以下のいずれに該当するか、選択してください。 <input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅等ではない。 <input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅等である場合、当該住宅等の建設地が居住誘導区域内にある。 <input type="checkbox"/> 建築物の用途が住宅等である場合、当該住宅等の建設地が居住誘導区域外にあるが、都市再生

	特別措置法第 88 条第 5 項の規定により、当該住宅等に係る届出をした者が同条第 3 項の規定による勧告に従わなかった旨が公表されているものではない。
伐採後の再造林や木材の再利用等に資する取組 【要件①-viii】	以下のいずれに該当するか、選択してください。 ※下記ウ、エについては、記述欄に具体的内容を記載してください。 <input type="checkbox"/> ア 持続可能な森林から産出された木材※を使用する。 ※合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(平成 28 年法律第 48 号)又は木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成 18 年 2 月 15 日林野庁)に基づき合法性が確認された木材をいう。 <input type="checkbox"/> イ 再利用木材(種類)を使用する。 <input type="checkbox"/> ウ 解体後の再利用を念頭においた木質部材を使用する。 <input type="checkbox"/> エ その他これらと同等以上の取組をする。 (記述欄)
その他	※上記のほか、木造化に関し特記すべき事があれば記載してください。

木造化の取組内容 詳細（A 4・最大3枚）

プロジェクト名	
<p>※提案する木造化の取組について、内容が端的に理解できる説明（概要図や内外観イメージ図等を交えたもの）をしてください。構造、防火、耐久性の観点で用いられる技術について、図等を用いて具体的かつ簡潔に記載してください。 （先進性を求めるものではなく、プロジェクトの内容を把握するためのものです。一般的に用いられる技術でもかまいませんが、技術的な工夫のポイントがあればご紹介します。）</p>	